

幼稚園アシスタントティーチャーボランティア体験談【オーストラリア】

工藤妃奈さん

子ども教育学科2年（令和8年度現在）

工藤妃奈

研修先： オーストラリア・シドニー幼稚園 令和8年8月～9月（2週間）

留学を決めたきっかけ

高校生の頃から日本と海外の教育の違いは何なのかを実際に体験したいと考えていました。現在大学では、幼稚園・小学校の教員免許取得に向けて学んでいます。その中で、個人や個々を尊重する教育方針であるオーストラリアではこういった形で保育が展開されているのか、日本の教育にどう活かせるのかを学びたいと思い参加を決めました。

留学中の生活や経験

シドニーでは、幼稚園でのボランティア活動だけでなく、公共交通機関を利用してさまざまな場所を訪れました。バスでは降りる場所を知らせるアナウンスがなく、手を挙げて運転手に合図を送ることや、電車は同じ番線から行き先の異なる列車が出るなど、日本との違いを感じました。また、道に迷った際には現地の方が優しく笑顔で教えてくださり、言葉や文化が違って人と人の温かいつながりを感じることができました。

留学を通じて学んだこと・得たもの

幼稚園での活動を通して、日本では全員で同じ活動をする場面が多い一方、オーストラリアでは複数の遊び場が用意され、子ども自身がやりたいことを選択して活動していることが印象に残りました。言葉が十分に通じない環境だからこそ、一人一人と丁寧に向き合うことの大切さを学びました。また、海外において想定外のことが起こった際の対処について考える視野も広がりました。

